



- ① 保険業としてのキャリアは10年以上。お客さん目線で最適な内容を提案。
- ② オーストラリア留学にて。語学習得だけでなく、海外でしか得られない様々な経験は、現在の活動にも活かされているという。
- ③ 「何もない町ですが、ココにしかない風景があります。」を合言葉に開催されている、通称「ボタマ」。次回は令和3年3月に開催予定。
- ④・⑤ 商工会青年部として、7月豪雨後には災害ボランティアに参加。毎年の清掃活動や、事業者間の意見交換なども積極的に行っている。

SNSで「ボタマ」をチェック!



募 集

このコーナーでは、地域の頑張っている人や団体を募集しています。自薦・他薦は問いません。詳しくは、お問い合わせください。

申込先：企画財政課 企画係

☎0965-52-5850

メール：

kouhou@hikawa.kumamoto.jp

員会として企画・運営に携わっている「ひかわボタニカルマーケット」は、平成30年3月の第1回を皮切りに、これまで3回開催し、来場者数が延べ2万人を超える一大イベントだ。

本業との両立は簡単ではないが、他事業者との繋がりなど、活動を通じて得られる経験は何にも代えがたいという。

また、商工会青年部の活動の一環として、7月豪雨で甚大な被害を受けた八代市坂本町などに、災害ボランティアとして何度も参加した。

その被害を目の当たりにした経験から、近年頻発している自然災害に対する防災意識を高める活動をしていきたい、と語る。

趣味はアウトドア。最近は専ら「庭キャンプ」だが、「家族みんなで楽しめるので、いいリフレッシュになりますよ。」と笑顔で話す。

住人十彩

2020 November
#7 ~伊藤慶輔さん~



このコーナーでは、地域の頑張っている人や団体を紹介します。
今回は伊藤慶輔さん(南鹿野)です。



海外留学から保険の道へ

伊藤慶輔さん(36)は、妻と4歳、1歳の子どもと4人暮らし。

損害保険、生命保険などを取り扱うPrime1で、代表取締役を務めている。

元々海外に関心を持っていた慶輔さんは、高校卒業後、陸上自衛隊を経て、語学とビジネスを学ぶためにカナダのバンクーバーに約1年3か月留学。

一旦帰国し、半年間ツアーガイドの仕事をした後、再び海外へ。オーストラリアで約1年間旅行代理店に勤めた。

現在の保険の仕事が始めたのは24歳の時。父の仕事を手伝うことから始めたが、子どもの時、父の大変そうな姿を見てきたこともあり、最初はあまり乗り気ではなかったというが、困ったときに人の役に立つことができるこの仕事に、次第に魅力を感じるようになった。

「職業柄、休みの時でも気は抜けないですが、可能な限り現場に足を運ぶことを心がけています。」と慶輔さんはいう。

3年前に父から会社を引き継ぎ、会社の代表となった今も、第一線で忙しい毎日を送る。

商工会青年部での活動

慶輔さんは、氷川町商工会青年部の副部長としての顔も持つ。

「氷川町を盛り上げよう!」と、実行委